



アイテム しごと探検隊

アイテムしごと探検隊は
「しごとの素晴らしさを伝えたい」という
私たちの思いから始まりました。

実際の職場に足を運び、
そこで働く人の話を聞くことを通して、
しごとの大切さ、素晴らしさに出会ったり、
発見できることを願っています。

今回の探検先 セレッソ大阪・クラブハウス

●隊員紹介(あいえお順)●

開田さん(5年生) 北子さん(5年生) 久保さん(6年生) 小林くん(6年生)
阪田くん(5年生) 佐野くん(5年生) 造座さん(6年生) 中田くん(5年生)
中田くん(6年生) 西尾くん(5年生) 東さん(5年生) 平野くん(6年生)
廣瀬さん(6年生) 藤澤くん(5年生) 松村くん(5年生) 横川くん(5年生)
横川くん(6年生)

アイテムしごと探検隊

今回の探検先は… セレッソ大阪

大阪市と堺市をホームタウンとするJ1クラブ。ホームスタジアムはヤンマースタジアム長居とキンチョウスタジアム。

「For the Top of Dreams」をスローガンに、スポーツを通じて夢と喜びを提供し、市民スポーツの振興と地域社会に貢献している。

チーム名の“セレッソ”は、スペイン語で大阪市の市花「さくら」を意味する。

●探検実施日：2014年4月4日(金)



グラウンドへと案内してくれたのは、現役時代から「モリシ」の愛称で幅広いファンに親しまれる森島寛晃さん。引退後は、セレッソ大阪のアンバサダー（大使）として活躍している。

緊張の中、探検スタート！
今回、探検隊の子どもたち17名が訪れたのは、舞洲にあるセレッソ大阪のクラブハウス。緊張気味の子どもたちを、強化部長の勝矢さんが迎えてくれる。



「サッカーでは、ボールがほしいとき大きな声を出します。皆さんも大きな声で挨拶をして、「ミニニケーションをとりましょう」

笑顔が出始めた子どもたちに、強化部について教えてくれた。「私の仕事は、チームを強くすること。とてもやりがいがあります。本当にしたいことを早く見つければ、早くから準備もできます」力強い言葉に、これから始まる探検への期待が高まる。

好きなことを仕事にする

クラブハウスに戻ると、森島さんがプロサッカー選手の仕事について教えてくれた。「たくさんの声援を受けてサッカーができる喜びはすごい」と、魅力を語る一方で、結果を出すために、食事や睡眠など生活すべてに気をつけなければならないと、プロの厳しさも伝えてくれた。

「選手は目立つけれど、思い切ってプレーできる環境を整えてくれるスタッフ、ファン・サポートの力があつてこそ。皆さんも感謝の気持ちを持つ、夢や目標を大切にしてくださいね」と、エールを送った。

選手の活躍を自分の言葉で伝える

続いて登場した小田さんは、サッカーディレーナリスト。華やかに見える報道の仕事だが、選手の活躍をファン・サポートへしっかりと伝える責任も大きいという。

「聞いた言葉だけではなく、選手をよく見て、表情やプレーからも情報を読み取ります」記者を志したきっかけを振り返り、夢に近づくヒントを示してくれた。「小学生の頃、読書とサッカーが好きでした。好きなことを追求した結果が、今の仕事です」

たくさんの人々がクラブを動かしている

最後は事業部ホームタウングループの間宮さん。

「セレッソ大阪も1つの会社です。選手や監督だけでなく、チケットを売る人やクラブを宣伝する人、いろんな仕事をしている人がいます」と紹介。

「たくさんの人々にスタジアムへ足を運んでもらうために、営業の人はどうな工夫をしていると思う？」と、問い合わせた。「チケットにグッズをつける」「子ども料金を無料にする」など、飛び出したするどい意見に間宮さんは大きくうなずく。たさん人の努力や工夫がチームを動かしていると、子どもたちは理解していた。

次は君たちが夢を実現する番だ！

セレッソ大阪を後にする直前、今シーズンから就任したポポヴィッチ新監督が登場。「皆さんが将来、選手やスタッフとしてセレッソ大阪で働いてくれることを願っています。正直に思いたいと、子どもたちにメッセージをくれた。最後はアイテムに戻つて、まとめの時間。それぞの感想や意見を活発に交わし、グループごとに発表した。さまざまな仕事にふれ、働くことの大変さや人を支える喜び、そして、夢や目標に向けて努力を続ける大切さを胸に刻んだようだ。

選手が練習する姿に、子どもたちは熱い視線を送る。森島さんが「コーチやマネージャーの姿も見えますね。マネージャーは、クラブのお父さん・お母さんみたいな存在。身につけるもの1つひとつ、選手それぞれの好みを把握しているんですよ」と教えてくれた。



この下には夏芝が眠っていて、4～6月にかけて育ちます。2種類の芝を同時に育てて1年中練習ができるようになります」風で飛ばされるほど小さな種から広いグラウンドがつくられると知り、興味津々の子どもたち。水分を含む天然芝は、夏場でも地面の温度を25度前後に保てるという。芝のない箇所に砂を埋める作業を手伝い、天然芝がプレーに大きく貢献していることを実感した。



森島 寛晃（もりしま ひろあき）氏 セレッソ大阪アンバサダー

プロフィール

【経歴】
△1988年 東海大一高 △1991年 ヤンマー △1994年 セレッソ大阪
【主な獲得タイトル】
△1995年…サントリーシリーズ最優秀新人賞、Jリーグベストイレブン
△1999年…Jリーグたまみオールスター・サッカーMVP
△2000年…1stステージ優秀選手賞、Jリーグベストイレブン



ピッチの中にも外にも発見！夢と感動をつくるサッカーの仕事